

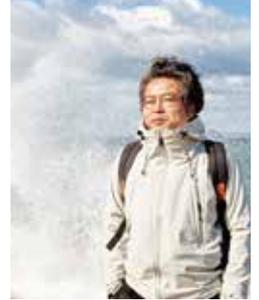


香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース
柴田悠基研究室

Senior Lecturer

柴田悠基

Yuki Shibata



造形・メディアデザインコース柴田研究室の紹介にアクセスしていただきありがとうございます。

柴田研究室では、芸術表現にコンピュータや電子機器などのテクノロジーを組み合わせるメディアアートの研究をはじめ、デザインやアートを軸にした地域プロジェクトなど多岐に渡る活動を行なっています。

現在は学部3年が4名、学部4年が3名、本研究室に在籍しており、各々で様々な活動を行なっています。今回はそんなそれぞれの活動を少しだけ紹介します。

是非、参考にいただければと思います。

ページの最後に質問用のURLを用意していますので、研究室の活動に興味を持った方は気軽に質問してください。

研究室
活動紹介
目次

Project.1 クリエイティブコーディング

Project.2 塩江ガソリンカー復元プロジェクト

Project.3 畦道カフェ

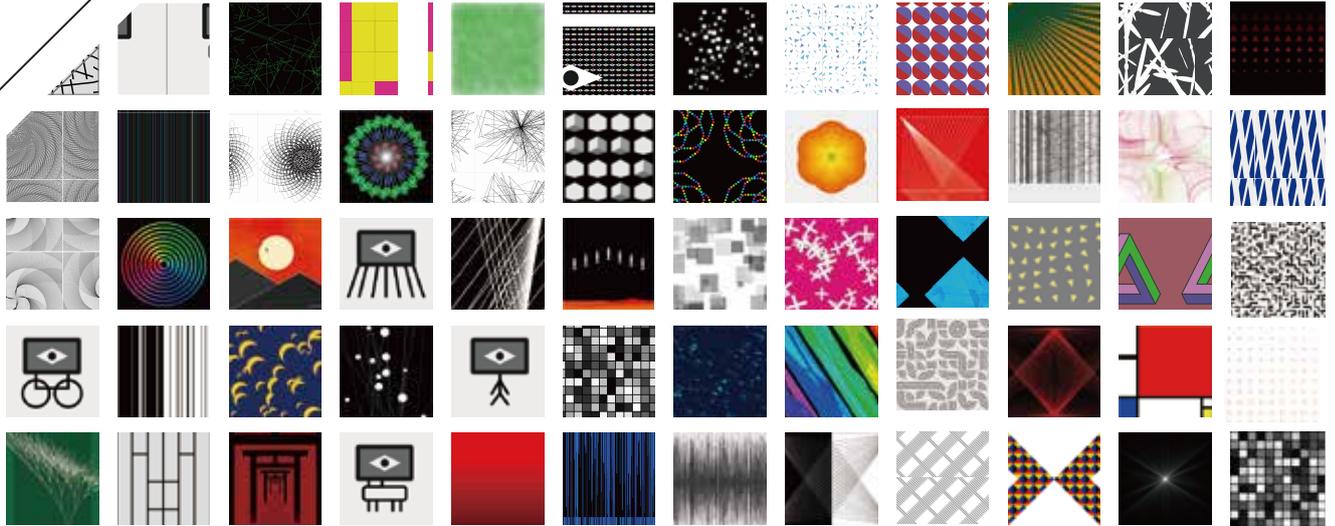
Project.4 GAME CHANGER _ 創造的自由奔放集団

Project.5 バスパイントプロジェクト

Project.6 仏生山カフェ

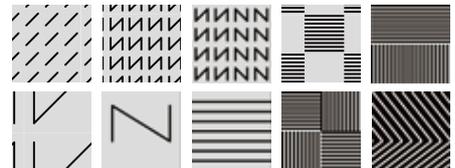
Project.7 善通寺市 AR 展示

Project.1
クリエイティブ
コーディング



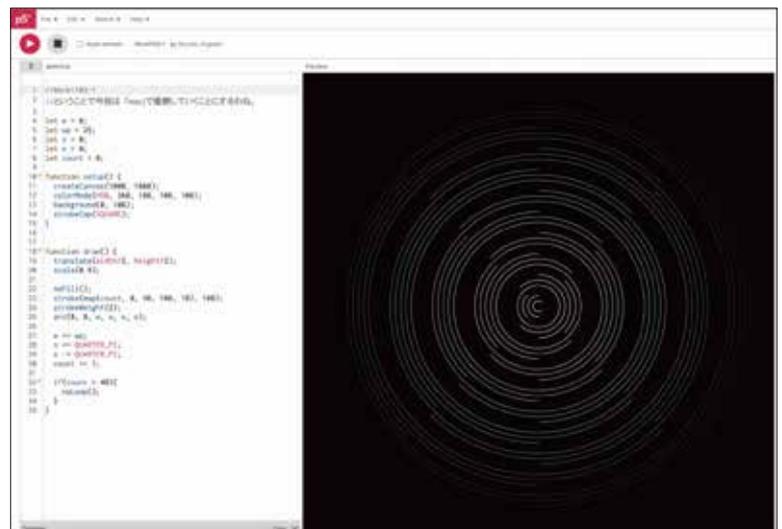
プログラミングと 芸術を組み合わせた 新たな表現方法

プログラミングは、システムエンジニアだけでなくデザイナーやアーティストにとっても有用なスキルです。プログラミングを活用すれば、作品の内容によっては制作時間を短縮できたり表現の幅を広げたりすることが可能です。また、プログラミングを学ぶことによって物事を論理的に考える力も伸ばすことができます。私は、昨年9月からプログラミングで絵や動画を作る「クリエイティブコーディング」に取り組んでいます。



コードの実行結果をビジュアルとして出力するプログラミング言語「p5.js」や「processing」を使い、作品を制作しています。作品制作の手順は、イラストや動画の制作手順とあまり変わりません。まずキャンバスの大きさを決め、それから図形や線を配置していきます。最後に、図形の大きさや数、重なり具合を調整します。背景や図形の色も調整できるので、良い感じの色づかいを模索していきます。

図形を一瞬で数千個描く、各図形の配置に数学的意味を持たせる、などプログラミングが得意な描き方を活かすことが良い作品をつくるコツです。また作品を制作するうえでプログラミングの文法を理解することはもちろん、色彩学や平面構成、数学の知識が必要になることもあります。幅広い知識を身につけていくことも重要です。





今は無き

「塩江温泉鉄道」の風景と記憶を 技術で蘇らせる

今から90年以上も前に、高松市南部に位置する仏生山ー塩江間を運行していた塩江温泉鉄道、通称「ガソリンカー」を復元するプロジェクト。過疎化や高齢化により、語り継ぐ者が少なくなり、忘れ去られていた当時の風景と記憶を、現代に蘇らせ、アーカイブを行っています。プロジェクトを通して、ガソリンカーのあった時代の塩江について知り、ペインティングやジオラマを制作することで、当時の風景や塩江地区の人々の記憶を記録し、後世に繋いでいきます。



奇跡的に発見された当時図面をもとに、原寸大のガソリンカー模型を制作し、ライティングパフォーマンスや、ワークショップを11月に塩江で開催予定です。さらに、現地調査を重ね、当時の塩江の主要施設を3Dで復元しました。また、それらをもとに運行区間のジオラマの作成や、当時の塩江の風景をペインティングで表現するなど活動は多岐に渡ります。プロジェクトを通して、自分たちの好きな分野をチームで自主的に勉強し、制作を行っています。





田んぼ × コーヒー 地域資源を活用した コーヒースタンド

香川県の東の端に位置する東かがわ市で過疎地域における定住促進を目的に田んぼの真ん中で不定期にオープンする「畦道カフェ」。開催場所となる福栄地区は高齢化率 44% を超える過疎地域で、カフェはおろかスーパーやコンビニもなく、唯一の小学校も昨年廃校となりました。しかしながら、地域を横断する国道 377 号線は、お遍路道として広く知られており休日には多くの方が通られます。そこで、その受け皿的な役割を担うイベントがあれば良いのではないかと考え、「畦道カフェ」の構想が浮かびました。

東かがわ市は農業産出額のうち約 4 割をお米が占め、それゆえの田園風景が 1 つの地域資源となっています。そんな大らかな風景のなかでコーヒーを楽しんで欲しいと思い、「畦道カフェ」と名前をつけました。名前の通り、畦道を地元の農事組合法人の方々のご協力のもとお貸しいただき、運営を行うことができました。地域貢献や、SDGs の観点から、畦道カフェのためにブレンドされたコーヒーは、東かがわ市内で焙煎されたものを使用し、フードメニューの食材も、地域で廃棄される予定だった、B 品や、規格外のものを使わせて頂いています。また、机や小物は学生でデザイン・制作を行い、イベントを通じた学びの場として展開しています。





アートプロジェクト in 東かがわ市 「WE ARE PIRATES WHO STEAL YOUR HEART. - 我ら心を奪う海賊団。 -」

2021年4月より、東かがわ市引田にある旧高橋造船所にて全長10mある海賊船のオブジェを制作するアートプロジェクトを進めています。コンセプトは、「海賊船の最終形は人々の繋がりのかたち」。少子化が深刻化する地域の中で、かつてあった「子供達が外で秘密基地を作り、地域の人々が見守る」といった構図を生み出す試みです。本プロジェクトに当たって、プロジェクト団体「GAME CHANGER-創造的自由奔放集団-」を立ち上げ、WEBページや映像、団体ロゴなどを制作し、活動報告やイベントの広告宣伝を行っています。
[\(https://gamechanger-bomb.com/\)](https://gamechanger-bomb.com/)



資材・資金を集めることから始め、地域の方々からの協力を募りながら、制作に取り組んでいます。海賊船制作に用いた資材のほとんどが、地域の方々から提供していただいた廃材です。

また、クラウドファンディングで資金収集を行い、無事に目標金額に達しました。

10月23日/24日には、海賊船の展示イベント「宴と出港」を開催します。

イベントを盛り上げるために、東かがわ市在住のDJの方や、飲食店が参加して下さる予定です。

また、照明制御やインタラクティブな仕掛けを海賊船に組み込み、大航海中の海賊船を表現します。

イベントを通して、訪れてくれる人々に、確かにここにある人々の繋がりを感じてもらいたいと考えています。



我ら心を奪う海賊団。
 みんなの繋がりにかたちを作られた
 誇りの海賊船が出港する。
 今夜は宴だ。
 高鳴る鼓動が心地よいビートを刻むだろう。

宴と出港

Exhibition Events

引田にある旧高橋造船所にてアートプロジェクト「我ら心を奪う海賊団」で制作した海賊船の展示イベントです。夏祭りの盛り上げに合わせ、地元の人々から提供いただいた廃材で制作された海賊船のオブジェを展示し、みんなの繋がりにかたちを作られた海賊船が展示されます。

音楽の提供、映像などの内容は、別途告知欄にて、公開情報をお知らせいたします。
 全ての人へ感謝を込めて。

チケット情報
 10/23(日) 18:00-23:00
 (税込) 会場内フリーパス

DJ
 IMO (Setouchi Balearic)
 [Food Stands]
 専任スタッフ
 あり

TOBIO COFFEE
 10/24(日) 13:00-17:00

協賛
 高橋造船所跡地
 東かがわ市引田2899-4

お問い合わせ
wanna.be.gamechanger@gmail.com

Produced by

学部3年 三谷なずな
 Nazuna Mitani





困難な世の中で 前向きな気持ちを持って欲しい イベント・アートバス

株式会社東交バスさんが主催するプロジェクトである「バスペイントプロジェクト」。コロナ禍による影響で自由は制限され、長引く状況下で不安や疲弊を感じる人は多く旅行の自粛や制限からバスを使用する機会も激減しています。そこで7月から8月にかけてクラウドファンディングを募り、頂いた資金をもとに大型バス3台を新たにオリジナルデザインでペイントするプロジェクトが始まり、そのうちの1台をペイントさせて頂けることになりました。ペイントされたバスが走っている姿を見た人に少しでも元気を与え、創造する楽しさを届けることができたらと考えております。

これをきっかけに香川大学生によるKADAI CREATIVEというチームを立ち上げました。



私たちが制作するバスのコンセプトは「シフトチャレンジ」。
新型コロナウイルスによる影響は大きく、私たちの生活は大きく変化しました。
ネガティブな側面を感じてばかりでしたが、そんな中見つける新たな挑戦や発見も多くあったと思います。
変化を否定的に捉えるのではなく、受け止め、肯定的に捉えることで今まで気づかなかった新しい発見や試みを見つけ、とにかく前向きに挑戦してみる、そんな気持ちを大切に活動しています。
今後、実際にバスにペイントする作業を予定しています。
大きなキャンパスに私たちの想いを描き、バスを見てくれた人とその想いを共有できたらと考えています。

Produced by

学部3年 川畑彩夏

Ayaka Kawabata





仏生山の歴史を踏まえつつ 新しいことに挑戦する 「まちの研究室」



仏生山は香川県高松市中部地域の最も南にあり、高松平野のほぼ中央部に位置するまちです。交通アクセスが良く人気スポットが多い一方で、古き良き町並びが多く存在します。佛生山らぼプロジェクトとは、2020年10月に発足した、「まちの研究室」となることを目指す経済学部の学生プロジェクトです。佛という旧字体を使っているのは仏生山の歴史を大切にしていきたいからという理由があります。プロジェクトのロゴは仏生山にあるちぎり神社という神社が織物と深く関係していることから、糸がおられている様子をイメージしています。今後佛生山らぼプロジェクトとして私たちと地域の方々とのつながりを大切にしていきたいという意味も込められています。

「まちの研究室」を目指すにあたり、カフェの運営と並行して月に一回程度、こども向けに「仏生山こどもらぼ」というワークショップ形式のイベントも行っています。発足してまもなくの頃は、地域の方々と触れ合う機会がほとんどなかったため、ものづくりを通して地域の子供たちと大学生、そして地域の大人の方々のふれあいの場を作ることを目的に単発の企画を進めました。今後は、より仏生山に触れて仏生山について考えてもらうために通年での計画を企画しています。畑づくりでは、作った野菜の販売会を通して、労働をお金に変換することを体験してもらい、ベンチづくりでは、設置場所の検討と調査を通して仏生山の魅力や課題について深く考えてもらいたいと考えています。



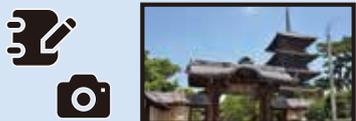


TOKYO GEIDAI ART FES × SHIBATA LAB

来る 2021 年 11 月 6 日から、香川県西部に位置する善通寺市にて AR 技術を活用した展覧会「TOKYO GEIDAI ART FES」が開催されます。今回の展示にあたって、当研究室が AR アプリの開発、リアル展示において技術協力することとなりました。まずは、善通寺市の市役所職員の方々と市内を巡り、市内の様々なスポットを見学し、その中で、イベントの来場者に伝えたい善通寺市の魅力的なスポットや AR を展示して面白さが生み出されるスポットをいくつか選定することができました。その後、東京藝術大学から提示された作品を、該当するスポットの特性を考慮しつつ、どこに配置するか検討し、それと並行して AR アプリケーションの開発も進めていきました。



善通寺市での現地リサーチ



善通寺市に実際に赴き、どの場所でどのような展示をするのか決定する

アプリケーション開発



Unityを用いて、AR機能を備えたアプリケーション開発を開発する

AR 展示



市内のスポットにARマーカ―を設置し、アプリケーションを通じて展示する



開発ツールの「Unity」とAR機能を実現するためのインターフェース「Vuforia」を使用しスマートフォン用のARアプリケーションを開発していきました。作品の形式によって、画像・映像・音声などをARに表示していき、効果的な展示方法を模索し、ARを表示させるためのマーカ―も同時に制作を進めました。設置場所や作品の内容を考慮して認識しやすいマーカ―のデザインを試行錯誤し、11月6日からAR展示に合わせて善通寺市内におけるARマーカ―の設置や、アプリケーションの配信を進めていく予定です。



展覧会
スケジュール

- 10/23,24 GAME CHANGER 展覧会「宴と出港」
11/5-14 TOKYO GEIDAI ART FES
11/14 塩江ガソリンカー復元プロジェクト展示会
11/23- Daichi Taniguchi 個展



その他
ご質問等



<https://forms.gle/pTVHztJpCP1uw9gr5>

質問等は上のQRコード、URL先のフォームからご記入ください